

## 「マルチステークホルダー方針」

当社は、「人技幸献」（当社に関わるすべての人を幸福にするとともに、社会に技術で貢献する）の考え方のもと、株主にとどまらず、従業員、取引先、顧客、債権者、地域社会をはじめとする多様なステークホルダーとの価値協創が重要となっていることを踏まえ、マルチステークホルダーとの適切な協働に取り組んでまいります。その上で、価値協創や生産性向上によって生み出された収益・成果について、マルチステークホルダーへの適切な分配を行うことが、賃金引上げのモメンタムの維持や経済の持続的発展につながるという観点から、従業員への還元や取引先への配慮が重要であることを踏まえ、以下の取組を進めてまいります。

### 記

#### 1. 従業員への還元（必須記載）

当社は、従業員一人ひとりが自分の専門性や個性を最大限に活かし、新規事業、技術革新、高い目標や課題にチャレンジすることで持続的な成長を実現してきました。今後も経営資源の成長分野への重点的な投入、従業員の能力開発やスキル向上等を通じて、持続的な成長と生産性向上に取り組み、付加価値の最大化に注力します。その上で、生み出した収益・成果に基づいて、「賃金決定の大原則」に則り、自社の状況を踏まえた適切な方法による賃金の引上げを行うとともに、それ以外の総合的な処遇改善としても、従業員のエンゲージメント向上や更なる生産性の向上に資するよう、人材投資を中心に積極的に取り組むことを通じて、従業員への持続的な還元を目指します。

（個別項目）

具体的には、賃金の引上げについては、当社を取り巻く事業環境、物価動向や人材市場環境などの外的要素や当社の業績、労務構成、持続的成長に向けた人的資本投資の考え方等に基づき、適正な利益確保を前提に継続した取り組みを行います。

また、人材投資については、「人材の確保」「人材の育成」「人を活かす環境づくり」の実践が従業員エンゲージメントを高め、企業価値の向上と持続的な企業成長に資するとの考え方のもと、採用数の増と採用手段の多様化、従業員が自身の専門性や個性を活かして挑戦できるようなさまざまな学びの機会の提供、従業員とその家族の健康と安全を最優先に考えた時間外労働時間の削減、健康支援体制の強化など、従業員がライフとワークのバランスを保ちながら、安心して自身のキャリア形成に専念できる仕組みと環境づくりに取り組みます。

#### 2. 取引先への配慮（必須記載）

当社はパートナーシップ構築宣言の内容遵守に、引き続き、取り組んでまいります。

- ・ パートナーシップ構築宣言の登録日

【2024年3月6日】

- ・ パートナーシップ構築宣言のURL

【<https://www.biz-partnership.jp/declaration/52638-05-18-kumamoto.pdf>】

#### 3. その他のステークホルダーに関する取組（任意記載）

当社の事業活動は、従業員や取引先に加え、お客さま、株主・投資家や地域社会の皆さまなど多くのステークホルダーとの関係性の中で成り立っています。事業成長と社会課題解決

の両立を図る経営の実践に向けては、あらゆるステークホルダーとの信頼関係の構築・維持が不可欠であり、これまで同様、対話を通じて当社に対する期待を認識するとともに、適切に事業活動に反映してまいります。

これらの項目について、取組状況の確認を行いつつ、着実な取組を進めてまいります。

以上

令和6年3月15日

平田機工株式会社

代表取締役社長執行役員 平田雄一郎